

「第46回日本医学教育学会大会」にて当プログラムについて 発表しました

平成26年7月18日（金）・19日（土）に和歌山県立医科大学にて開催された、第46回日本医学教育学会大会に参加してきました。

和歌山は2日間とも晴天で、30度を超える非常な暑さでしたが、学会では地域医療、卒前教育、専門職間連携など、様々なテーマでシンポジウム、口演、ポスターなどがあり、いつものなごりの盛り上がりを見せていました。



私たちも、未来医療研究人材養成拠点形成事業「オール新潟による『次世代医療人』の養成」のタイトルで口演をしました。プログラムの概要、ソーシャルキャピタルにフォーカスしたアンケート調査結果、トータルヘルスケアワークショップとフィールドワーク、各種講演会など、これまでの成果について、また、今後の予定について話しました。

会場からは、アドバンスドコースではどんな研修を予定しているかのご質問をいただき、歯科衛生士の口腔ケアの現場、リハビリテーションでの理学・作業療法、嚥下訓練の現場などでの研修を考えているとお答えしました。また、このプログラムの評価をどのようにしていくかのご質問には、実際に総合診療医が増えていくのかどうかは時間をかけて評価していかなくてはならないので、なかなかすぐに数値として出すのは難しく、まずはコースにエントリーしたレジデントの業績やモチベーションなどを評価していくことになるとお答えしました。

今後は、この学会の場でプログラムの成果についても発信していければと考えています。

